

第2回 鞆の浦しおまち海道サイクリングロード振興協議会 意見交換概要

走行環境

- ・ トライアルライドを平日だけでなく休日などにも実施することでそれぞれの交通状況がわかると思う。また、車で走行しドライバー目線も体験してみるなど、色々なパターンを想定してほしい。
- ・ 沼隈町の路面をきちんと整備してほしい。

受入環境

- ・ サイクステーションの休憩機能としてこういったものがあればよいかサイクリストに意見を伺いたい。
- ・ もともとあるバスと船を使った取組にレンタサイクルをプラスするだけで新たな取組とすることができる。
- ・ JCGA 日本サイクリングガイド協会の登録ガイドが広島県には1人しかいない。本協議会の中から登録ガイドを出し、ガイド育成プログラムの作成も良いと考える。

機運醸成・情報発信

- ・ いかにしおまち海道を知ってもらうかが大きな課題である。
- ・ 福山駅からエフピコアリーナ、エフピコアリーナから鞆の浦等各区間において利用者のターゲットを絞り、それぞれに合わせた施策を考えていただきたい。
- ・ 市内の小学生に自転車の安全走行講習会を実施する中でしおまち海道を知ってもらえれば、保護者や祖父母まで情報が伝わり、市民の認知度が向上するのではないか。
- ・ しまなみ海道の利用者は新幹線で福山駅を利用することが多いため、駅構内の広告パネルを活用する等しまなみ海道の出発点として利用していただけるように取り組む。
- ・ 鞆の浦というコンテンツの情報発信にぶら下げる形でしおまち海道をPRする。
- ・ ルート内の非日常感がある魅力的なコンテンツを作り上げ発信するとともに、その間に滞在できる拠点を作る必要があり、トライアルライドを通じ魅力を発信してほしい。
- ・ 百島を全国の人に知ってもらえる機会としたい。

サイクルイベント

- ・ 機運醸成をしていく上で、サイクルイベントは必須。
- ・ 不特定多数が参加可能な大規模なイベントも視野に入れていただきたい。
- ・ サイクルイベント同士が重ならないような日程調整や、福山市だからこそできる独自性のある企画を考えていただきたい。
- ・ これまでサイクリングイベントに参加していなかった層に参加してもらえるようなものを企画してほしい。
- ・ しまなみ海道の例では高速道路を通行止めにしたように、地域の皆様の安心安全が確保できる形で試行錯誤しながら実施していただきたい。